

第 4 次おおむた男女共同参画プランの推進状況 審議会委員評価・コメント及び各課の回答

目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

【施策の方向】 1. 働く場における女性の活躍推進

(2) 雇用の場における女性の育成・登用推進

No.	推進項目	取組概要	令和6年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
2	女性活躍推進のための啓発	国や県と連携し、企業や事業所、行政関係に対して、広報おおむたやホームページ等により、女性の積極的登用等に関する啓発を行います。	商工会議所、産業振興課を通じて市内企業、南筑後農業協同組合などの各団体等に、国やあすばる(県)、関係機関からの女性活躍推進に関する様々な事業の情報提供を行いました。また、ホームページ等を活用するなど啓発を行いました。	a	(a)	21	人権・同和・男女共同参画課	商工会議所等への情報提供は今後も積極的に実施してほしい。商工会議所から会員事業所へ送られる案内等に、啓発チラシや講演会の案内等を同封できると更に企業や事業所に啓発できるのではないかな。	国や県等からの様々な事業の情報提供につきましては、女性活躍推進のため今後も継続して行ってまいります。また、企業等に情報提供するための方法につきましては、検討を重ねてまいります。

【施策の方向】 3. 政策・方針決定の場への女性の参画拡大

(1) 市における政策・方針決定過程への女性の参画推進

No.	推進項目	取組概要	令和6年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
16	女性人材リストの充実・活用	審議会等委員への女性の参画を推進するため、大牟田市内外で活動し、市政に関心があり、審議会等に参加する意欲のある女性の人材リストを作成し、その情報を提供します。	「女性人材リスト登録者募集」のチラシやポスターを公民館等へ配置し、広報おおむた(12月1日号)やホームページへ掲載するなど広く登録者を募りました。また、庁内掲示板に登録情報を掲載しリストの利用促進を図りました。リスト登録者は、新規登録者が2名、更新者18名中12名の方が更新され28名となりました。その中から延17名の方が審議会委員へと登用されました。	b	(b)	26	人権・同和・男女共同参画課	“女性人材リスト”の形式において、敷居が高い気がするとう意見出ささせていただきましたが、今回更新された登録者の人数が前回の32名から28名に減っているという状況を見て、求めていることが多すぎるのかなと思いました。(有資格者であったり、市政に興味がある、審議会経験など)何を一番に考えたいのか、登録者を増やしたいのか、見えにくいです。具体的な目標人数を出してみてもどうか。	女性人材リストは、多方面にわたる女性の人材をリストに登録し、本市の政策及び方針決定の場への女性の参画を促進するため、審議会等に参加する意欲のある方に登録をお願いしているものです。委員を選任する際の参考とするため、登録申請書には関心がある分野や資格等について記載をお願いしております。また、女性人材リストの登録者数については、第4次プランにおいて令和9年度の目標値を50人と設定しております。ご意見を参考とし、登録申請書等の見直しを検討していきたいと思ひます。

目標Ⅱ 誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現

【施策の方向】 3. 生涯を通じた健康支援

(1) 生涯にわたる男女の健康支援

No.	推進項目	取組概要	令和6年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
42	女性の健康力推進 (乳がん・子宮頸がん検診)	乳がん、子宮頸がん等の受診率向上に努め、がんの早期発見を徹底することで、早期治療につなげ、がんを含めた生活習慣病全体の予防を図ります。	集団がん検診で、女性医師や技師が対応するレディースデー(子育て応援デーを兼ねる)を5回実施しました。R6年7月に子宮頸がん検診対象者419人、乳がん検診対象者542人へ無料クーポン券引き換えハガキを送付し、申請者にクーポン券を交付し、12月に子宮頸がん検診と乳がん検診無料クーポン券未利用者へ受診勧奨ハガキを送付しました。その他、9月に40歳から65歳の5歳刻みでがん検診のDMを発送し、10月から12月にかけて受診者の増加が見られました。	b	(b)	38	健康づくり課	大牟田市は、がん検診の受診率が増加したのか、取組の結果を数値化してほしい。 (無料クーポン引き換えハガキの送付に対する受診率) 効果があれば是非続けてほしい。	乳がん検診・子宮頸がん検診の検診受診率については共に増えています。 (検診受診率) 5年度 乳がん12.3% 子宮頸がん11.7% 6年度 乳がん14.4% 子宮頸がん13.6% 無料クーポン券の利用率(無料クーポン引き換えハガキ送付者の検診受診率)は、乳がん検診は減り、子宮頸がん検診は増えています。 (無料クーポン引き換えハガキ送付者の検診受診率) 5年度 乳がん21.6% 子宮頸がん 9.3% 6年度 乳がん20.7% 子宮頸がん11.0% 無料クーポン券の利用率については年度により増減があるものの、受診率向上にある程度の効果が見込まれるため、事業の周知や受診勧奨を行い、今後も継続して実施していきたいと考えています。

(2) 妊娠・出産期における女性の健康支援

No.	推進項目	取組概要	令和6年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
46	産前・産後サポート事業(パパ・ママ育児専科)の推進	出産前後は、女性にとって身体的な変化が大きく、心理的にも非常に不安定な時期です。妊産婦及び家族等に対する個別の相談支援や、参加型事業による仲間づくり等を行います。また「パパ・ママ育児専科」では、妊婦体験等により、男性のパートナーに対する理解や共感の意識を醸成して夫婦の絆を深めるとともに、子育てへの不安を軽減できるように支援します。	パパ・ママ育児専科を年に6回実施し、47組97人が参加しました。開催に関しては、地域の助産師等を講師とし、出産についての講話や妊婦体験、沐浴、衣類の着せ替えなどの実技を行いました。	a		39	子ども家庭課	その時だけの体験では、理解は難しいと思います。私は妊婦体験に参加した時に、夫に「楽だね、意外と」という言葉が聞かれました。ぜひ開催されるのであれば、その体で10ヶ月過ごすということ、生活を行っていくことを代弁してあげる役目もあるのではないかと思います。また、男性の育児休暇取得をすすめていく中で、その休みを通常の休みと同じように感じては理解につながらないと思うので、事前に収集したアンケート等を活用し、パパに協力してほしい事ランキングなど、事前に配慮できることを伝えてあげることもいいのではないかと。	子ども家庭課では、妊娠・出産・子育て期に渡り、育児支援事業を行っております。また、伴走型相談支援として、保健師や助産師等の専門職が妊婦や子育て家庭の状況に応じて、相談対応や家庭訪問を行っています。今回いただいたご意見も参考に、様々な事業に取組みたいと考えます。
								※評価は「b」が妥当と思います。	

目標Ⅲ 男女がともに生きる社会の実現への意識づくり

【施策の方向】 1. 男女共同参画の浸透を図る学習・啓発の推進

(1) 役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消

No.	推進項目	取組概要	令和6年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
51	市職員への研修の充実	性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を解消し、人権を尊重しながら行政施策の推進を図るため、職場研修等を通じて職員への意識啓発を行います。	研修を通じて職員の意識啓発を行いました。 (研修受講者数: 集合研修 1,265名、新規採用職員研修(派遣) 45名、新任主査研修(派遣) 29名)	a		45	人事課	研修の内容が不明なので、研修のテーマ等について報告をお願いしたい。	全職員を対象とし、身近な人権問題やハラスメントについて研修を実施しています。そのほか、新規採用職員については、人権をテーマに「あなたに伝えたいこと」の見方・考え方という内容についての研修を実施しています。また、新任主査については、差別をテーマに「歴史認識をアップデートする」という内容についての研修を実施しています。研修のテーマは様々ですが、研修では社会的立場の自覚やアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)についても学びました。

【施策の方向】 3. SDGsの解消と国際交流の促進

(2) 国際交流の促進と在住外国人への支援

No.	推進項目	取組概要	令和6年度実績	取組評価	審議会評価	プラン参照頁	担当課	委員のコメント	担当課回答
62	国際交流の促進	国際協力事業や友好姉妹都市交流事業などへの参加を促進し、海外の男女共同参画状況の理解を深めます。	大同市からの交流団の受入及び歓迎レセプション等を実施しました。	a		49	総合政策課	記載されている内容だけでは男女共同参画との関連性が分からないため、より詳しい説明をいただきたい。	友好都市である中国大同市と長年にわたり幅広い交流事業を実施し相互理解を深めています。6年度は、大同市からの代表団を受け入れ、歓迎レセプションや市民交流などを行いました。この友好都市交流事業の継続により両市の文化や価値観の共有を行い、海外の男女共同参画状況の理解を推進します。